



平成 19 年 11 月 12 日

各位

会社名 株式会社ネプロジャパン
代表者名 代表取締役社長 金井 孟
(JASDAQ・コード 9421)

問合せ先
役職・氏名 取締役管理本部長 大瀧 秀樹
電話 03-6803-3970

平成 20 年 3 月期中間（連結・個別）及び通期（連結・個別）業績予想の修正、
並びに特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 19 年 5 月 15 日付に発表いたしました「平成 19 年 3 月期決算短信」の平成 20 年 3 月期中間（連結・個別）及び通期（連結・個別）業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	12,212	246	246	83
今回修正 (B)	10,959	151	109	△254
増減額 (B-A)	△1,253	△95	△137	△337
増減率	-10.3%	-38.6%	-55.7%	—

(2) 中間期修正の理由

売上高につきましては、前年同期比 1,427 百万円増と推移する見込であるものの、移動体通信事業において、出店予定数の減少等により当初予想比 1,091 百万円が減少し、また、モバイルビジネス事業において企業の広告サイト構築等の受注案件が下期にずれ込んだ等があり、当初予想比 131 百万円の減少した等計画通りに伸展しなかったため、10,959 百万円（当初予想比：1,253 百万円の減少）と業績予想を下回る見込であります。

営業利益につきましては、営業費用は 11,966 百万円と当初予想比 1,159 百万円減少となったものの、上記売上高減少見込を吸収できず、営業利益は 151 百万円（当初予想比：95 百万円の減少）となる見込であります。

経常利益につきましては、内部統制構築関連費用等の発生により 109 百万円（当初予想比：137 百万円の減少）となる見込であります。

中間純利益につきましては、特別損失 301 百万円（滞留債権に対する個別引当追加計上による貸倒引当金繰入額 98 百万円、IP ソリューション事業にかかる投資先の財政状態を勘案し従来基準

により引当てた投資損失引当金繰入額 32 百万円、同事業にかかる連結子会社の事業計画と実績に乖離があるためのれんを再評価したことによる減損 137 百万円等)が発生したことにより、△254 百万円（前回予想比：337 百万円の減少）となる見込であります。

(3) 通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回予想 (A)	28,000	1,050	1,050	425
今回修正 (B)	24,500	800	640	50
増減額 (B-A)	△3,500	△250	△410	△375
増減率	-12.5%	-23.8%	-39.0%	-88.2%

(4) 通期修正の理由

上記中間期の状況変化があり、当初計画を達成するに至らず、売上高 24,500 百万円（当初予想比：3,500 百万円の減少）、営業利益 800 百万円（当初予想比：250 百万円の減少）、経常利益 640 百万円（当初予想比：410 百万円の減少）、当期純利益 50 百万円（当初予想比：375 百万円の減少）となる見込であります。

(3) ご参考：前期の実績（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期（中間）純利益
中間期 (4/1～9/30)	9,532	158	134	43
通期 (4/1～3/30)	21,597	545	530	54

2. 平成 20 年 3 月期 個別業績予想の修正

(1) 中間期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中間純利益
前回予想 (A)	11,230	249	249	84
今回修正 (B)	9,986	148	146	△313
増減額 (B-A)	△1,244	△101	△103	△397
増減率	-11.1%	-40.6%	-41.4%	—

(2) 修正の理由

売上高につきましては、前年同期比 791 百万円増と推移する見込であるものの、移動体通信事業において出店予定数の減少等により当初予想比 1,091 百万円と伸展しなかったことを含め、9,986 百万円（当初予想比：1,244 百万円の減少）と業績予想を下回る見込であります。

営業利益につきましては、営業費用は 9,837 百万円と当初予想比 1,146 百万円減少となったものの、上記売上高減少見込を吸収できず、売上高が業績予想を下回る見込に伴い、営業利益は 148

百万円（当初予想比：101百万円の減少）となる見込であります。

経常利益につきましては、146百万円（当初予想比：103百万円の減少）となる見込であります。

中間純利益につきましては、特別損失 425 百万円（滞留債権に対する個別引当追加計上による貸倒引当金繰入額 170 百万円、IP ソリューション事業にかかる投資先等の財政状態を勘案し従来基準により引当てた投資損失引当金繰入額 227 百万円等）が発生したことにより、△313 百万円（前回予想比：397 百万円の減少）となる見込であります。

(3) 通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	24,802	772	772	286
今回修正 (B)	21,600	650	640	△100
増減額 (B-A)	△3,202	△122	△132	△386
増減率	-12.9%	-15.8%	-17.1%	—

(4) 通期修正の理由

上記中間期の状況変化があり、当初計画を達成するに至らず、売上高 21,600 百万円（当初予想比：3,202 百万円の減少）、営業利益 650 百万円（当初予想比：122 百万円の減少）、経常利益 640 百万円（当初予想比：132 百万円の減少）、当期純利益△100 百万円（当初予想比：386 百万円の減少）となる見込であります。

(3) ご参考：前期の実績（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期（中間）純利益
中間期 (4/1～9/30)	9,195	183	163	44
通期 (4/1～3/30)	20,494	578	570	96

（注）上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以上